

オンリーワンのシステムパートナーとして、 お客様を「真の成功」へと導いていきたい

”個”を基調にしながら、
”One Team”として新スタート

2011年4月、震災による大惨事から日本が再生されるなか、IT業界でも新たな挑戦がはじまっていた。長きに渡りITコンサルティンクとして名高い「フューチャーアーキテクト株式会社」のグループカンパニーとして、「FutureOne株式会社(旧株式会社エルム)」が新たに誕生したのだ。

「これまでの豊富な知識とノウハウをもとに、主に中堅・中小企業のお客様にソリュー

ションを提案しています。親会社であるフューチャーアーキテクトは大手企業を中心としているため、その関連会社や取引企業のシステムを私たちが構築することで、グループ統制やサプライチェーンを考慮したトータルサポートが可能になると考えています」

つまり、企業そのものの求心力が高まり、企業の価値が最大化され、持続的成長が可能となるのだ。中堅・中小企業は、日本経済の大きな担い手。重要なポジションにいる。しかし、システムで言うなれば、既成のものでは物足りず、ゼロから創り出すのもコスト的に難しいというシビアな立場にいるのだそう。

「企業の数だけ課題はありますし、お客様のニーズも多様化しています。お客様と真摯に対峙し、1対1の関係を築き、課題解決へとつなげていきます。そのためにも、社員一人ひとりの”個”を活かしながら、常に一つの想いを共有する”One Team”となって、お客様が安心して未来を託していただけるオンリーワンのシステムパートナーでありたいと思います」

お客様のビジネスを基点に
柔軟にかつ迅速に対応

大阪と東京のメンバーが融合し、商いの原点を大事にしつつ、スタートをきったFutureOne。新しい社名にある”one”には、さまざまな意味が込められている。そのひとつに、”スピードNo.1”がある。

「一般的にシステム開発から導入まで、1~2年ほどの導入期間がかかってしまいます。世の中は日々刻々と動いていますし、特に中堅・中小企業のお客様はすぐに活用できるシステムを望んでいます。このため、システムの設計・構築・運用をワンストップで行い、コストを抑えつつ、最短で最高のものに仕上げる必要があります」

確かに、ビジネスにおいてスピード感もつとも気になるところ。FutureOneでは、規模にもよるものの、契約から6ヶ月を目処に納品という通常の半分以下の速度を目標にしている。

「スピードにこだわるのは、お客様のビジネスを尊重したいから。どこに向かっていたいのかというお客様の未来を重視しています。ときには、システムを導入しなくても、業務改善をするだけで解決する場合もあります。システムを売ることばかり考えるのではなく、お客様との信頼関係を何よりも大切にすることが私たちのやり方です。」

実績や売り上げなどの結果は、自ずと後からついてくるものです。お客様の成功のために必要とされるソリューションを提供し、より多くのお客様に満足していただきたい。これが私たちの願いです。5年後までにはIT業界における”アジアNo.1”の地位を確立し、グローバルに展開していきたいと考えています」



代表取締役社長 櫻田 浩

FutureOne株式会社

住所：東京都品川区大崎 2-9-3
大崎ウエストシティビル

電話：03-5719-6122

Web：http://www.future-one.co.jp

●創業：1976年2月 ●代表者：代表取締役社長 櫻田 浩 ●事業内容：ERP・基幹業務システムを中心としたグローバルソリューションブランド『FUTUREONE』シリーズの開発・販売。豊富な導入実績・ノウハウを基に、業務分析・コンサルティングからシステム設計・開発導入後のアフターフォローまで、密度の高いサービスを提供している。

Leader & Innovation
賢者の選択
A Shrewd Man's Choice

公式サイト <http://kenja.jp>

✚ 全国放送：7月31日(日) 放送予定

BS11 毎週日曜日 10:00-10:55

日経CNBC 毎週日曜日 12:00-12:55

✚ 兵庫・大阪：8月1日(月) 放送予定

SUN-TV 毎週月曜日 22:00-22:55